

教科	公民	単位数	2単位	対象	2年次	選択群	
使用教科書	高等学校 公共 (帝国書院)			副教材等	高等学校 公共ノート (帝国書院) ライブ! 公共2025 (帝国書院)	履修	☑履修・選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路	
現実社会の特徴、青年期の問題、日本や世界の国々の経済、日本国憲法や民主政治、国際社会などについて学習しながら、これからの社会はどうあるべきか、さらにその社会の一員として私たちはどのように生きていくべきかについて考えていきます。			<ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について理解を深めるとともに、その解決に向けて、自己と社会の関わりを踏まえ、社会に参画する主体として自立することや、他者と協働してよりよい社会を形成することについて考察する。 ・出来事や資料を分析し、自分自身の意見をもち、それを表現する。 			・2年次生が履修します。	
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目	学 習 内 容			
	4月	第1部 第1章 社会の中の 私たち	1 青年期と社会参画 2 宗教・思想・伝統文化と社会	1 私たちの生きる現代社会 2 青年期 3 悩むこと 4 ジェンダー 5 学ぶこと 6 社会参画とキャリア 1 宗教 2 日本の思想 3 日本の伝統と文化			
	5月	第2章 思想から学 ぶべきもの	1 倫理的な見方・考え方	1 古代ギリシャの思想 2 古代中国の思想 3 近代西洋 の思想 4 現代の思想			
	6月	第3章 私たちの社 会の基本原 理	1 社会の基本原則と憲法の考 え方	1 近代立憲主義の原理 2 近代立憲主義の広がり 3 日 本国憲法 4 平等に生きる権利 5 自由に生きる権利 6 人間らしく生きる権利 7 広がる人権の考え方 8 人権保障の国際的な広がり			
	7月						
	9月	第2部第1章 私たちと法	1 法の意義と司法参加	1 社会規範と法 2 私たちの生活と法 3 契約の考 え方 4 消費者の権利と責任 5 司法の役割 6 刑事裁判とそ の課題			
	10月	第2章 私たちと政 治	1 民主社会と政治参加 2 国際政治の動向と平和の追求	1 政治と権力 2 議院内閣制と国会 3 権力分立と行政 4 地方自治 5 政党政治とメディア 6 選挙制度と課題 1 国家と国際法 2 主権と領土 3 平和主義と日本の防 衛政策 4 日本の安全保障 5 国連の役割と活動 6 紛 争とテロ 7 核兵器と軍縮 8 国際協力と日本の役割			
	11月	第3章 私たちと経 済	1 市場経済のしくみ 2 豊かな社会の実現	1 経済とその考え方 2 市場のメリットと限界 3 企業 の目的と役割 4 金融の役割 5 政府の役割と財政の機能 6 日本の財政の課題 7 経済の変動			
	12月			3 国際経済の動向と格差の是正	1 産業構造の変化と職業選択 2 中小企業と農業 3 労 働者の権利 4 雇用と労働に関する課題 5 社会保障の役 割と意義 6 社会保障制度の課題		
	1月	第3部 持続可能な 社会の実現 に向けて	1 課題探究	1 国際経済のしくみ 2 国際経済の枠組み 3 地域経済統 合 4 グローバル化と自由貿易協定 5 国際経済の変化と 課題 6 経済格差の是正			
	2月			1 課題探究学習の手引き 2 日本のエネルギー問題 3 増加する医療費の問題 4 環境問題 5 必要な情報を集めるための方法			
	3月						
学習方法	<p>【予習】 教科書をよく読んで、概要をつかんでおきましょう。</p> <p>【授業】 まずよく聞いて理解することです。また、自分の意見がもてるように考えましょう。</p> <p>【復習】 重要語句について覚えましょう。また、演習で解いた問題を見直しましょう。</p>						
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を収集し、資料の意味するものを的確にとらえることができる。 ・現実社会の基本的な問題について、それらの学び方を理解するとともに、その知識を身に付ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の中から課題を見つけ出し、広い視野に立って多面的に考える。 ・様々な考え方があることを踏まえ、公正に判断し、自分の意見を表現することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の基本的な問題について関心をもって積極的に授業に参加する。 ・予習・復習・課題をきちんと行う。 		
評価規準・評価方法	評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末
	※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に査査による 観点別評価 B：主に授業等の活動による 観点別評価		A：7割 B：3割 Bは、授業態度(発表)、小テスト、課題の取組状況、長期休業中の課題等		A：7割 B：3割 Bは、授業態度(発表)、小テスト、課題の取組状況、冬季休業中の課題等		1・2・3学期の平均
備考							

政治・経済①

総合学科

教科	公民	単位数	3単位	対象	3年次	選択群	P②群
使用教科書	政治・経済(数研出版)			副教材等	政治・経済資料2026 (東京法令出版)		履修 必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路	
日本や世界の国々の政治、日本国憲法の概要、また、経済のしくみや世界の国々の経済的な結びつきなどを学習し、政治と経済、国内と世界を関連させて考察していきます。			<ul style="list-style-type: none"> 政治や経済についての基本的な事項についての理解を深め、それぞれに関連があることを理解する。 資料や統計を活用し、政治や経済についての見方や考え方を身に付ける。 			四年制大学の進学希望者で共通テストや一般受験で公民科目を必要とする生徒が対象です。	
学習の年間計画	月	単元名	項目	学習内容			
	4月	第1章 現代の政治	第1節 民主政治とその基本原理	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治とその基本原理、民主政治の展開 政治体制の比較 			
	5月		第2節 日本国憲法と基本的人権	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の基本的性格、日本国憲法の平和主義 基本的人権の保障 			
	6月		第3節 日本の政治機構	<ul style="list-style-type: none"> 国会のしくみと役割、内閣と行政機構 裁判所のしくみと人権保障 地方自治のしくみと住民生活 			
	7月		第4節 政治参加と民主政治の課題	<ul style="list-style-type: none"> 戦後政治と政党 選挙制度のしくみ、世論と情報化社会 			
	9月	第2章 現代の経済	第1節 経済活動の意義と経済体制	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済の発展と変容 経済活動の主体 			
	10月		第2節 現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 市場経済のしくみ、国民所得と経済成長 金融のしくみと働き、財政のしくみと租税 			
	11月		第3節 日本経済と福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> 戦後日本経済のあゆみ 中小企業と農業・食料 公害防止と環境保全 消費者問題と消費者保護 労使関係と労働市場 少子高齢社会と社会保障 			
	12月		第1節 国際政治の動向	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会と国際法、国際社会の組織化 戦後国際政治の展開 			
	1月	第3章 現代の国際社会	第2節 国際経済の動向	<ul style="list-style-type: none"> 貿易と国際収支、国際経済のしくみ 地域主義の働き 			
	2月		第3節 国際社会の課題と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> 核兵器の廃絶と軍縮問題、地域紛争と人種・民族問題 地球環境と資源・エネルギー問題 発展途上国の経済と経済協力、日本の国際的地位と役割 			
	3月						
学習方法	<p>【予習】 教科書の該当するページをよく読み、重要語句や分からない語句をノートにメモしておきましょう。</p> <p>【授業】 集中して作業学習に取り組み、説明をよく聞き、学習内容をよく理解しましょう。</p> <p>【復習】 学習した内容をノートに見直して整理し、重要語句は数回ノートに書き、理解を確実にしましょう。</p>						
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> 現代の政治、経済、国際関係の本質や動向を理論的・客観的に理解し、それを知識として身に付けるようにする。 資料を様々な方法で収集し、その中から必要な資料を選び出す技能を身に付ける。 		<ul style="list-style-type: none"> 現代の政治、経済、国際関係などにかかわる事柄から課題を見つけ、望ましい解決方法について考える。 資料を用いて、効果的な表現を行う力を養う。 		<ul style="list-style-type: none"> 予習、復習をきちんと行う。 現代の政治、経済、国際関係などに対する関心をもって意欲的に課題を追求しようとする態度を育む。 		
	評価方法		第1・2学期	第3学期	年度末		
<p>評価方法</p> <p>※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。</p> <p>A：主に考査による 観点別評価</p> <p>B：主に授業等の活動による 観点別評価</p>		A：7割 B：3割 Bは、授業態度(発表)、提出物、夏季休業中の課題等	A：7割 B：3割 Bは、授業態度(発表)、提出物、冬季休業中の課題等	1・2・3学期の平均			
備考							